

たくさんの皆様にご参加ご協力いただきながら2013年度も多彩な活動を展開しています。活動の輪が年々広がりうれしいですね。今回は、2013年度前半(4~9月)の活動についてご報告いたします。



### 生きものと共存する米づくり

活動場所: つくば市神郡



### 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり

自然豊かな谷津田を存続させるため、沢水をひいて米づくりを継続し9年目となりました。田植え、稲刈りには多くの子どもたちも参加し、田んぼの生きもの観察も行いました。草取り、イノシシ防除柵設置などには、ボランティアの皆さんが協力、収穫したお米は、オーナー家族・企業、ボランティアで分け合いました。【パルシステム茨城くらし活動助成基金より一部助成】

荒れた里山の整備と森林の再生をめざし谷津田周辺の森林整備活動を継続、夏場は植樹地の草刈りを行い、植えた木が育つのを助けました。明るい里山林が復活し、生物多様性も増大しています。【ローソン緑の募金助成事業】



「すそみの田んぼ」での田植え



田んぼボランティアの草取り



地元の田井小4年生体験学習



草刈りに積水化学工業の皆さんが参加



貴重なミズオオバコの花



### 都市農村交流活動

活動場所: つくば市白井・神郡

筑波山麓で活動する団体や地元農家が筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会をつくり、様々な活動を展開中。すそみの田んぼにも東京の方々々が田植え稲刈りに多数来訪。筑波山麓の魅力を発信し、都市と農村の交流を進めるための地域情報紙「すそみろく」も発行しています。



筑波山を見ながら稲刈り



### 筑波山麓自然学校

活動場所: 筑波ふれあいの里

筑波山の東山麓にあるつくば市の野外活動拠点施設「筑波ふれあいの里」で、筑波山麓の自然や里山の文化を学ぶ講座を、年間を通して開講しています。

6/15 ジャガイモ収穫・ジャガイモ料理・森探検(19名)、7/15 夏の虫・むし探検隊(63名)、8/3 沢の生きもの観察会(37名)、8/10 昆虫ナイトウォッチング(28名)、8/24 発見・たいけん・沢あそび(55名)を実施しました。

【つくば市委託事業】



ジャガイモ収穫



夏の虫・むし探検隊



### 筑波山ファンクラブ

活動場所: 筑波山・加波山ほか

筑波山の自然を守り育てる人の輪が広がることをめざし活動しています。毎月の観察の記録はカラーの「筑波山便り」にまとめ、登録メンバー(約100名)に配布しています。活動日・テーマ・参加人数は以下。

4/14 裏筑波のカタクリと早春の植物(27名)、5/6 加波山・春の植物(23名)、6/2 広根場林道の植物(16名)、7/14 自然研究路の自然(16名)、8/18 広根場林道~イワタバコの花を訪ねて(15名)、9/1 ユースホステル跡~自然研究路(15名)



加波山観察会



カタクリ群落





## 筑波山における環境教育事業

活動場所: 筑波山ほか

つくば市観光物産課とともに、筑波山ビジターセンター～自然のひろば～を開設(5月、10月、11月の土日祝日)。つくば市環境都市推進課とは、協働で筑波山の自然を学ぶ講座を実施。筑波山自然インストラクターの皆さん(登録44名)が参加協力し、筑波山での環境教育活動を様々に展開する人材となっています。

### ●筑波山ビジターセンター事業

すばらしい自然を紹介するのが、筑波山での一番の「おもてなし」との考えから、ケーブルカー山頂駅2階休憩所に「自然のひろば」を試行的に開設、展示や学習コーナーをつくり観光客のニーズを調べます。野草の写真展や手作りの自然発見情報ボード、筑波山の動物を紹介するコーナーなどを設け、インストラクターが常駐して解説しました。絵手紙風の顔出し看板や筑波山クイズなど、子どもも楽しめる工夫もいっぱい。休憩しながら、筑波山の自然を学ぶことができます。5月は10日間開設し、1760人が来場。



メッセージをこめた顔出し看板



ビジターセンターで学習中

### ●筑波山環境教育事業

7/7 つくばの里山を学ぶ～国蝶オオムラサキのいる森と筑波山麓の谷津田(参加者24名)

8/21 夏休み企画 霞ヶ浦～桜川～筑波山麓水源の森へ(参加者31名)



7月つくばの平地林を観察



8月水源の沢水を調査



## 人と自然と地域を結ぶオオムラサキの森づくりプロジェクト

活動場所: つくば市葛城地区【三井物産環境基金助成事業】

国蝶オオムラサキが棲み続けられる雑木林の保全・再生をめざし2005年より活動を継続。筑波学院大や筑波大の学生、NOKグループユニオンなど企業ボランティアも参加して平地林のエコアップを進めました。春から夏は植樹地の草刈りを実施、植えた木が大きく育つように手入れしました。9月には今年生まれたオオムラサキ幼虫も観察できました。



## 里山こどもワンダーランド作戦

残された雑木林を子どもたちの体験の場に！ つくば市葛城地区下平塚の保健保安林で、森の手入れ体験、生きもの観察、栗拾いなど親子で楽しく活動しました。次世代の環境を担う子どもたちが、体験を通して里山への理解を深めることを目的としています。地元小学校と連携しての活動も実施中。



植樹した木の周りの草刈り



オオムラサキ2令幼虫



子どもたちとオオムラサキの放蝶



地元の小学校で授業



## しぜんっこらぶ in ゆかりの森

活動場所: 豊里ゆかりの森

幼児親子が対象の自然体験教室。5月新緑の森散策、6月雨の森探検と七夕かざり作り、7月ザリガニつり、8月お休み、9月森で生きもの探しとわらび餅作りと水曜、金曜各クラス30組の親子で活動。修了生のお母さんボランティアのグループ殻斗が活動をサポート、楽しいブログもあります。



## つくば里山たのしみ隊 in 高崎自然の森

つくば市農業課と協働で高崎自然の森を活用する体験事業を実施しています。6/22 初夏の生きものたんけん和ザリガニつり(60名) 7/31 森の生きものマップづくりI (52名) 8/7 森の生きものマップづくりII (53名)と毎回たくさんの参加があり、高崎自然の森の認知度も上がっています。



自然を題材とした紙芝居



雨も自然のうち。こんな生きものがあるよ！



白玉だんごづくり



生きものスケッチ



セミの羽化を観察

**事務局より** 10年の長きにわたって事務局を支えてくれたスタッフの中島博美さんが京都に転居されました。また、この2年間で、東京電力からの派遣ボランティアとして谷津田の活動などを担当した塚原和弘さんが会社に戻られました。しばらく事務局が手薄となり何かと行き届かないことも多いかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。